



がん臨床試験のブレイクスルー:まず基盤から 第1回 CRCの明日を考える

近年、グローバル化やIT化、分子標的薬などの複雑かつ高度な臨床試験に伴い、CRCの業務は急速に多様化し、CRCに求められる能力がますます大きくなってきました。このような環境の変化の中、期待された役割を果たす努力を続けるCRCがいる一方、燃え尽き、離職に至るCRCも多く、CRCの不足については、このまま静観して見過ごすことはできない状況になってきていると感じています。しかしながら、個別化医療実現に向け今後もCRCの役割は増すばかりであります。

CRCが燃え尽きることなくモチベーションを維持できる環境、また未来のCRCが夢を持てる環境を作るためには、今何が必要かを検討する目的で今回「CRCの明日を考える」をテーマとしたセミナーを企画しました。

現在のCRCが抱える問題点を明らかにし、解決策が一つでも多く見つかることを期待します。

日 程	2016年11月6日(日) 13:00~18:00 (開場 12:30)		
会 場	東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール http://www.u-tokyo.ac.jp/ext01/iirc/		
主 催	国立がん研究センター東病院 吉野孝之 国立がん研究センター研究開発費 28-A-5 (吉野班)	協 力	NPO 法人日本臨床研究支援ユニット
後 援	日本臨床薬理学会、日本SMO協会、日本看護協会、日本病院薬剤師会、日本臨床腫瘍薬学会 日本臨床試験学会		
定 員	400名	参加費	無料
参加申込	日本臨床研究支援ユニット ホームページよりお申し込みください。(http://www.crsu.org/)		

Program

13:00～13:05	オリエンテーション	司会 国立がん研究センター東病院 治験管理室 木村雪絵
13:05～13:10	オープニング	国立がん研究センター東病院 消化管内科 吉野孝之
13:10～14:50 (100 分)	【CRC の立場から明日を考える】座長 がん研有明病院 臨床試験支援部 吉武奈緒子 国立がん研究センター中央病院 治験管理室 中濱洋子 ・CRCの奮闘と疲労と楽しさについて考える 国立病院機構大阪医療センター 臨床研究推進部 臨床研究推進室 森下典子 ・これからの CRC が日本の医療を変える 国立がん研究センター東病院 治験管理室 酒井隆浩 ・海外 CRC のよい点や課題を共有して日本 CRC の明日を考えよう Research Intern Department of Breast Medical Oncology, MD Anderson Cancer Center 藤原紀子	
14:50～15:00	休憩(10 分)	
15:00～16:40 (100 分)	【CRC 支援の立場から明日を考える】座長 静岡県立静岡がんセンター 治験管理室 柳沢由紀 国立がん研究センター東病院 治験管理室 原 真幸 ・CRC の雇用と離職の現状 株式会社 EP 総合 田代伸郎 ・CRC のキャリアパス MSD 株式会社 齊藤裕子 ・看護の中での CRC/リサーチナースの立場 聖路加国際大学 井部俊子	
16:40～16:50	休憩(10 分)	
16:50～17:50	【パネルディスカッション】座長 中央大学 大橋靖雄 国立がん研究センター東病院 吉野孝之 CRC に夢と希望のある職場環境を考える シンポジスト 日本医療研究開発機構 吉田易範 国立病院機構大阪医療センター 森下典子 国立がん研究センター東病院 酒井隆浩 MD Anderson Cancer Center 藤原紀子	
17:50～18:00	総括	中央大学 大橋靖雄